ala times
Kani Public arts center ala news letter

2026
11/12
KANI PUBLIC ARTS CENTER ala
11月1日発行
可児市文化創造センターala広報誌

文学座の実力派俳優陣が贈る、昭和のホームコメディ！



Cover Artist Interview

高橋 正徳

Masanori TAKAHASHI

演出家

2000年文学座附属演劇研究所入所（40期生）。05年座員昇格。04年文学座アトリエの会『TERRA NOVA テラ ノヴァ』で文学座初演出。以降、川村毅、鐘下辰男、佃典彦、東憲司、青木豪など多くの現代作家の新作を演出。また文学座附属演劇研究所の発表会の演出も多く務める。小劇場まで大劇場まで精力的に活動する傍ら、地方劇団・公共団体・学校などでの演劇ワークショップの講師としても活躍。2011年文化庁新進芸術家海外研修制度により1年間イタリア・ローマに留学。

Cover Artist Interview

秋之 桜子

Sakurako AKINO

脚本家

大阪府出身。俳優・山像かおりとして文学座に所属し、多数の舞台に出演（2017年退団）。女性二人芝居ユニット羽衣1011を旗揚げ、秋之桜子として脚本家デビュー。2010年、舞台『猿』で第16回劇作家協会新人戯曲賞優秀賞を受賞。主宰する演劇集団西瓜糖の全公演の脚本と出演の他、椿組、花組芝居、流山児★事務所、PARCO、東宝、東映劇場アニメ、NHKドラマ『笹まくら』（26年８月ギャラクシー賞月間賞受賞）など幅広く執筆。演出の高橋正徳氏とは今作で10作品目のタッグとなる。27年2～3月、所属するフクダ＆Co.創立10周年公演が控える。

文学座が描く昭和50年の夏、ある家族のかたち。

高橋正徳 <演出家> × 秋之桜子 <脚本家>



来年90周年を迎える、文学座の記念公演第一弾『みつ豆』がアーラに登場。女優や声優（山像かおり）としても知られる気鋭の脚本家・秋之桜子と演出家・高橋正徳の名コンビでおくる昭和のホーム・ドラマに期待が高まる。

1937（昭和12）年の創立以来、舞台を通して人々の営みや時代の記憶を描き続けてきた文学座にとって節目となる注目の公演ですね。

高橋　だからこそ、この企画は秋之さんにお願いしたいと思いました。彼女と組むのは今回で10本目。凄くアングラ的な作品もあれば、子どもミュージカルから大地真央さん主演のテレビ・ドラマを舞台化した『最高のオバハン 中島ハルコ』の台本まで、これまで幅広いジャンルを手掛けていて、アイデアが豊富で作風も常に新鮮。何より台詞に文学性があって〝強い〟。カジュアルに言葉を消費しがちな現代作家が多い中、彼女が書くものは口語でありながら舞台上でちゃんと対話して人間関係を変化させる。しかも関西人らしくそこに〝笑い〟もある…と、実に文学座向きなのです。

秋之　やりたかったのは言葉によって紡いでいく家庭劇。特に何かキャッチーな動きや派手な踊りなどがある作品ではないので、それがちゃんとできる役者となるとやはり文学座がいい。今回とても信頼できるメンバーを揃えていただいたので、心配とか一切なくて自由に書くことができました。

なぜ戦後30年にあたる1975（昭和50）年という時代が選ばれたのですか？



高橋　2024年に秋之さんの演劇プロデュース集団「西瓜糖」の『かえる』を演出しました。終戦間近の葉山を舞台にした家庭劇で、歴史や人間のドラマとして手応えを感じたのがひとつ。私は1978年生まれですが、今の自分にとって30年程前の出来事といえば阪神・淡路大震災や地下鉄サリン事件のあった頃でそれほど大昔という感覚がないので、きっと昭和50年当時の大人たちにとっての終戦もそうだったんじゃないかなって思うんです。だからこそ、豊かさの裏のどこかに世の中が隠している戦後の〝歪み〟のようなものがあったのではないかと。

秋之　1972年の「あさま山荘事件」以降、学生運動などが急速に終息して、既にこの頃には社会全体が少し落ち着いていたというか、高度経済成長を果たした日本人がふと立ち止まって、もう二度あの戦争と向き合うことができた時代。その頃の、どこか抜けていて愛らしいごく普通の家族を描きたかった。

舞台装置の構成とその使い方がユニークですね。廊下によって隔てられた2つの部屋（ダイニングとリビング）を3つの家族（岡崎家・栗木家・榊原家）で共有して、場面ごとに同じ場所が別の家族の居場所になる。時に、現実にはそこに居ないはずのお隣の家族とリンクしてお互いに影響し合ったり、隣で次の場面の準備が始まったり。特に第一幕の終わりは急展開でそれぞれ同時進行なのでステージ上は、まるで映画のモンタージュみたいになるのでは？

秋之　かもしれません（笑）。話と一緒に登場人物の気持ちも途切れないずっと続いていくのが好きなのです。基本的に演出家を信頼してお任せするタイプなので、私もどんなふうになるのか楽しみです！

高橋　秋之さんの場合は設定がかなり緻密に作り込まれているので手がかりが多く、そういう意味では作りやすいのですが、まあ書いてあるレシピ通りにやっても面白くないので、現場で俳優さんも交えて色を付けながら立ち上げていくのが醍醐味です。



タイプの違う3つの家族の関係性が面白いです。

秋之　私の母が三姉妹で、幼い頃にそのやりとりを見ていたのがいろいろ元ネタになっています…「父ちゃま」「姉ちゃま」といった呼び方もそこから。祖母もよく戦時中の話をしてくれましたし。それと戦後はいろんな事情を抱えた人がいっぱいいて、家族のかたちも様々で親類でもない人が同居していたり、行き場のない人を受け入れる懐の深さがあったと思うのです。

高橋　古き良き昭和の大らかさの一方で、マンション暮らしや核家族化も進んでいて、それらが混在し共存しているのもあの時代の魅力。様々な価値観が微妙にぶつかり合うのもいい。

高校生のカオルや大学生のサトルなど、若い世代の大胆な行動が物語を動かしていく感じも素敵です。あと、三河屋のケンちゃんや風変わりな女性（長峰）が重要な役どころとしてしっかり絡んでくるところも。

秋之　ケンちゃんとサトルくんが好きだから、初稿ではついそのシーンが長くなってしまい…。

高橋　長峰さんのモノローグもね（笑）。

秋之　自分も役者のひとりなので、どの役もひとつひとつ大切に書いています。演じ手が自分の役に愛着を持ってくれたら、そこから思わぬアイデアが生まれたりしますから。

〝戦争〟が背景にあるドラマにありがちな「悲しみを乗り越えて」とか「あの時の苦労があって現在がある」みたいなメッセージを前面に打ち出していないのも素晴らしいと思います。

秋之　私も観客として「これがわかんなきゃダメ」みたいな作品は苦手。どの人物に自分を重ねて観るかによって話の受け止め方も違ってくるし、お客さんが各々でメッセージをみつけてもらえますように。

高橋　同じ家族の中でもそれぞれ見ているものは違う。ある大きな出来事をきっかけに、お互いに想いを一度クリアにした上で、再び家族とどう向き合うか、そのかたちがどう修復され治癒されるのかを見守っていただけたら嬉しいです。

取材／東端哲也　写真／三友鉄也　協力／フリーペーパーMEG

戦後80年の今こそ伝えたい"家族再生"の物語

文学座90周年記念公演
『みつ豆』

日時　12/12(土) 15:00開演
12/13(日) 14:00開演

戦後日本のごく普通の家庭に、戦争は静かに影を落としていた。突然現れた"死んだはずの妹"をきっかけに、家族が抱えてきた秘密と傷が露わになる。文学座90周年記念公演として戦争の記憶を現代へと手渡す、切実で温かな人間ドラマ。

【作】秋之桜子
【演出】高橋正徳
【出演】石田圭祐、塩田朋子、山崎美貴、奥山美代子、太田しづか、川辺邦弘、上川路啓志、大石英玄、麓雛多

会場　小劇場

料金　全席指定 5,000円
25才以下 2,500円

発売中

当日ハーフ割引　託児申し込み 11/28(土)まで

ala 英国シアターキャンプ 2027 参加者募集

アーラではおなじみ、演劇の本場イギリスはリーズ・プレイハウスから講師を招いて実施する特別講座。今年は大人向けの２コースです。

コースA　コミュニティプログラム・デザイン講座
日程　1/21（木）13:00〜18:00
1/22（金）10:00〜17:00
参加費　4,000円（税込）

コースB　英国デバイジング演劇講座
日程　1/23（土）10:00〜18:00
1/24（日）10:00〜18:00
参加費　6,000円（税込）

会場　演劇ロフト
定員　各コース16名程度

申込締切　1/8（金）
申込方法　応募フォームからお申し込みください。
講師　リリー・クレイグ / Lily Craig
（プレイハウス・コネクト・ディレクター / Director of Playhouse Connect）
対象　■18歳以上 ■演劇の演出・俳優・制作などの実務経験があり、今後も活動を継続する意思のある方。■演劇ワークショップの企画・運営・ファシリテーションの経験があり、今後も活動を継続する意思のある方。

応募フォーム▼

オーケストラと市民が躍動する壮大なステージ！

大型市民参加事業 第16弾
オーケストラと踊ろう!

日時 2/27(土)18:30・2/28(日)14:00



アーラで毎年行われる大型市民参加事業。今年度はオーケストラ「可児交響楽団」の演奏と共に、市民ダンサーが踊る「オーケストラと踊ろう！」。6 回目となる今回は、ブラームスの名曲「交響曲第 1 番」に長与江里奈が振付・演出を手がけ、コンテンポラリーダンスとクラシック音楽が融合する総勢 100 人規模の舞台を創り上げます。
【プログラム】
チャイコフスキー／
幻想序曲「ロメオとジュリエット」
ブラームス／交響曲第 1 番
振付・演出：長与 江里奈
指揮：柴田 祥

会場 主劇場

料金 全席自由 1,000円
※4才から入場可

託児申し込み
2/14(日)まで
※2/28(日)公演のみ

発売日 12/12(土)

東日本大震災復興支援 能登半島被災者支援

祈りのコンサート2027
～被災地へ届け、私たちは忘れない～

日時 3/7(日)14:00

オール岐阜出身の気鋭の演奏家たちでおくる、可児からのエール。
出演：清水陽介 (チェロ)、長坂美玖 （コントラバス）、粥川愛 (ピアノ)
ナビゲーター：佐野 秀典 （作曲・編曲家）
【プログラム】ボッテジーニ／ベッリーニの歌劇「清教徒」の主題による協奏的二重奏曲、サン＝サーンス／動物の謝肉祭 より「象」「白鳥」、ショパン／華麗なる円舞曲 Op.34-1 ほか

会場 主劇場 料金 全席指定 1,000円 発売日 1/9(土)
※4才から入場可

託児申し込み
2/21(日)まで


清水陽介 (チェロ)


長坂美玖 （コントラバス）


粥川愛 (ピアノ)

心に響く「恋文」を俳優の朗読とピアノの生演奏で紡ぐ

シリーズ恋文vol.16

日時 11/14(土)・11/15(日)
各日14:00

珠玉の恋文を、ピアノの生演奏とともに男女二人の俳優が朗読します。16 回目を迎える本シリーズでは、渡辺いっけい、羽田美智子という実力派俳優が出演。言葉に込められた真っ直ぐな想いが、現代を生きる私たちの心にそっと寄り添います。

構成・演出：田村孝裕
出演：渡辺いっけい、羽田美智子
ピアノ：黒木由香

会場 小劇場

料金 全席指定 4,000円
25才以下 2,000円

発売中 割引シニア

託児申し込み
10/31(土)まで


渡辺いっけい


羽田美智子

初笑いは「かに寄席」で!

かに寄席　初席

日時 1/17(日)14:00

江戸の粋を現代に伝える名人、五街道雲助（人間国宝）と柳亭市馬、さらに円楽一門の逸材・三遊亭萬橘と役者がそろったところに、桂小すみが音曲で華やぎを添える。新年を寿ぐ珠玉の話芸をお楽しみください。

出演：
五街道雲助、柳亭市馬、三遊亭萬橘、桂小すみ（音曲）


五街道雲助


柳亭市馬


三遊亭萬橘


桂小すみ（音曲）

会場 主劇場

料金 全席指定 4,000円
25才以下 2,000円

発売日 11/21（土） 割引シニア

託児申し込み
1/7(木)まで

アーライルミネーション

アーラ冬の恒例イベント。
家族と、友人と、恋人と…大切な人と是非イルミネーションを見に来てください！

期間 12/4(金)～1/11（月・祝） ※休館日（毎週火曜日、12/28～1/7）を除く　点灯時間：〈12月〉17:30～22:00 〈1月〉18:00～22:00

点灯式

イルミネーション点灯期間中は毎日 1 組限定で「点灯式」を開催します。
今年の冬、特別なひとときをアーラで過ごしませんか？
ご応募お待ちしております。

時間 【12月】17:30　【1月】18:00 ※時間は15分程度

予約方法 お電話にて受付いたします。

※受付は先着順、申し込みは当日参加される方に限ります（お一人様1回まで）

受付開始 11/7（土）9:00～　TEL:0574-60-3050





その他催し物のスケジュールはこちら▶▶

「イベント・スケジュール」はアーラwebサイトに掲載しています。

チケット取扱 ／ 可児市文化創造センター・インフォメーション

ネットで予約する
https://www.kpac.or.jp
24時間いつでも予約可能！ ネットでのカード決済も可能。
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアーラ窓口で!

電話で予約する
TEL.0574・60・3050
お支払い・お受取りはセブンイレブンまたはアーラ窓口で!
9:00～19:00
（火曜休館／祝日の場合は開館 翌平日休み）

窓口で購入する
窓口でご利用可能なカード

●発売日は窓口・ネットにて販売。電話予約は翌日からとなります。 ●表記のない公演の開場は開演30分前です。 ●振込による代金支払いもございます。
●表記のない公演の未就学児の入場はご遠慮ください。 ●25才以下のチケット料金は各種割引サービスの対象外です。
●公演当日の混雑緩和のため、チケットの事前引き取りにご協力ください。また、当日は余裕を持ってご来場をお願いします。

残席が当日安くなる! 当日ハーフプライス
【当日ハーフプライス】
残席がある場合に限り公演日当日、チケット料金が半額になります。
※インターネットは 0 時から。
窓口・電話は 9 時から。

スマホで完結! チケットレスサービス チケットれすQ
【チケットれす Q】
インターネットでチケットを予約購入、お手持ちのスマートフォン等によって QR コードを表示してご入場いただけます。
※アーラ主催・共催公演対象

託児サービス対象
【託児サービス】
公演鑑賞されるお客さまのお子さま（6 カ月～未就学児）をアーラ館内のキッズルームにてお預かりいたします。
1 名 500 円
※要事前申込
※このマークがある公演対象

聴く歌舞伎「常磐津」を味わってみませんか？

可児常磐津教室 巴瑠の会
令和 8 年度 おさらい会

日時 1/24(日)13:00

常磐津は歌舞伎の伴奏音楽として江戸時代に流行し、現代まで芸が引き継がれています。年に一度のおさらい会、巴瑠の会生徒による素浄瑠璃と講師やゲストによる情緒豊かな演奏をお楽しみください。

出演：可児常磐津教室 巴瑠の会　　指導：巴瑠幸太夫

会場 小劇場　料金 全席自由 無料



主催：可児常磐津教室 巴瑠の会

令和8年度 優秀映画鑑賞推進事業

35mmフィルムで味わう名作映画鑑賞会

日時 1/24(日)

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円
25才以下500円

発売中

小津安二郎監督が、家族の姿を通じて、変わりゆく社会を静かに見つめた作品を上映。

	1/24(日)
10:00	『秋刀魚の味』
14:00	『東京物語』

主催：（公財）可児市文化芸術振興財団／アーラ映画部／国立映画アーカイブ　特別協力：文化庁／一般社団法人日本映画製作者連盟／全国興行生活衛生同業組合連合会／松竹株式会社／東宝株式会社／東映株式会社／株式会社KADOKAWA

『秋刀魚の味』
1962年／113分



監督 小津安二郎
出演 岩下志麻、笠智衆、岡田茉莉子、佐田啓二 ほか

『東京物語』
1953年／136分



監督 小津安二郎
出演 原節子、笠智衆、東山千栄子、杉村春子、香川京子 ほか

知れば知るほど深みにはまる

歌舞伎とおしゃべりの会 1 月の会
芸能と仏教の身になるはなし

日時 1/30（土）13:30

歌舞伎など日本の芸能は仏教と深いつながりがあります。今回は宗教学者の釈徹宗さんをゲストに迎え、芸能と宗教、２つの視点から歌舞伎の魅力に迫ります。

講師：木ノ下裕一
ゲスト：釈　徹宗

会場 映像シアター

料金 全席指定 1,000円

発売日 12/12(土)


©平林岳志

ことばと音が心を満たす豊かな世界

市毛良枝の音楽と語りのひととき
『みち～谷川俊太郎の描く自然～』

日時 2/6(土)14:00

谷川俊太郎「みち」などの朗読を通して、人と自然の歩みを素敵な音楽と共に紡ぎます。

会場 小劇場

料金 全席指定 2,500円
25才以下 1,250円

発売日 12/12（土）

割引シニア

託児申し込み
1/23(土)まで



アーラ ウェルカム シアター
ala welcome theatre『たけとりKAGUYA』

レポート

親子で笑った日が、いつか人生の記憶になる

子どもの頃、家族と一緒に観た舞台の記憶が、何十年たってもふと蘇ることがあります。物語そのものはもちろん、隣で一緒に観た父や母の姿や、観劇後に向かったレストランまで、一緒に思い出されます。文化とは、作品だけでなく、誰かと過ごした時間の中にも残るものなのでしょう。

そんな記憶を残していきたいという思いから、「みんなの劇場の入り口となる作品」を合言葉に、「ala welcome theatre」を立ち上げました。子どもから大人まで、世代を超えて楽しめる舞台。その第一弾として創作したのが『たけとりKAGUYA』です。

手本にしたのは、英国で家族の劇場文化を育んできたパントマイム（大衆的な滑稽劇）。誰もが知る物語に、歌や笑い、観客参加を織り込んだものです。その楽しさを日本の劇場で、可児から育ててみたいと考えました。

佃典彦さんの脚本・演出は、『竹取物語』を大胆にひっくり返しました。かぐや姫は、月から来た姫ではなく、地球侵略を企てるエイリアン。光月るうさん演じる、ボーイッシュで生意気なかぐや姫が舞台を駆け、野添義弘さんら俳優陣のコミカルな演技と栗木健さんの生演奏が物語を彩りました。

客席も、ただ観る場所ではありません。自分で飾ったエイリアンの耳を身につけ、竹楽器を鳴らし、ときには舞台へ。客席と舞台の境目を越えて、劇場全体が笑いに包まれました。

「子どもも楽しく観て、参加して……大人の友だちはラスト感動して泣いてました」（アンケートより）。その言葉が、この舞台をよく表しています。

今日、親子で笑った一日が、明日の文化をつくります。いつかその子が親になったとき、自分の子どもの手を引いて劇場へ来るかもしれません。「昔、お父さんとお母さんと、ここに来たんだよ」と。劇場は、そんな記憶が世代を超えて帰ってくる場所でありたいと思います。『たけとりKAGUYA』が、誰かの人生に残る「劇場の原風景」になればと願っています。

プロデューサー　澤村 潤

ala welcome theatre
たけとりKAGUYA





特別企画「舞台に上がっちゃおう!」の様子

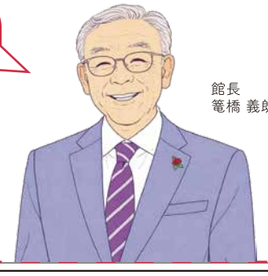




館長エッセイ、随時更新中！

ぜひ、ご覧ください！

こちらで読めます▼



館長
篭橋 義朗

第16回
劇場から地域を元気に 劇場の「えがお」人

アーラは、市民が自己実現を叶える場・輝ける場づくりを担い、地域を元気にする「えがおの劇場」を目指しています。そんなアーラを素敵な「えがお」で一緒に盛り上げてくださっている人々をご紹介していきます。



今回の「えがお」人
（左から）
やんきみさん、つきちゃん、たえこさん、みどりさん
（ala collection・ala welcome theatreサポーター）

今年の『たけとりKAGUYA』の公演では、来場者へプレゼントするエイリアンの耳や、エンディングで降ってくる竹トンボなど沢山の小道具を作ってくれました。

つきちゃん　こんなに小道具を作ったことは今までなかったかたら大変でした（笑）。でも、その分一緒に舞台を創った感があって満足度も高かった。特に最後のシーンで竹トンボが空から降ってきたときは、とっても感動した。

やんきみさん　毎年大変だけど、終わった時の達成感があるからまたやりたいと思うんだよね。

たえこさん　知り合いの子どもも、『たけとりKAGUYA』にハマったみたいで3回も観に来てくれてたよ。エイリアンの耳も頑張ってデコレーションしてる子がいたりとか、笑顔がいっぱいだった。

サポーターとして大事にしていることは何ですか？

つきちゃん　せっかく可児に来てくれたんだから、気持ちよく稽古をしてもらって、良いお芝居を作ってもらいたい。そのために出来る限り頑張ることかな。

みどりさん　サポーターの基本はおもてなしだからね。可児を「第二の故郷」に感じてもらえると嬉しいです。

皆さんサポーター活動を長年続けていますが、その魅力はなんですか？

やんきみさん　プロの作品作りを間近で見られることはもちろんですが、サポーターそれぞれが自分の得意を活かせることですね。カレービュッフェも、元々私が子育てサークルでやっていて好評だったことを職員さんと話して実現したんですよ。他のサポーターさんも看板づくりやデザート作りなどそれぞれの得意があって、皆さんリスペクトしてます。

みどりさん　他のサポーターと友達になれることはもちろんだけど、キャスト・スタッフの方と距離が縮まることも魅力ですね。

つきちゃん　こんなにも小道具を作ったことは今までなかったかたら大変でした（笑）。でも、その分一緒に舞台を創った感があって満足度も高かった。特に最後のシーンで竹トンボが空から降ってきたときは、とっても感動した。

やんきみさん　毎年大変だけど、終わった時の達成感があるからまたやりたいと思うんだよね。

たえこさん　知り合いの子どもも、『たけとりKAGUYA』にハマったみたいで3回も観に来てくれてたよ。エイリアンの耳も頑張ってデコレーションしてる子がいたりとか、笑顔がいっぱいだった。

サポーターとして大事にしていることは何ですか？

つきちゃん　せっかく可児に来てくれたんだから、気持ちよく稽古をしてもらって、良いお芝居を作ってもらいたい。そのために出来る限り頑張ることかな。

みどりさん　サポーターの基本はおもてなしだからね。可児を「第二の故郷」に感じてもらえると嬉しいです。

皆さんサポーター活動を長年続けていますが、その魅力はなんですか？

やんきみさん　プロの作品作りを間近で見られることはもちろんですが、サポーターそれぞれが自分の得意を活かせることですね。カレービュッフェも、元々私が子育てサークルでやっていて好評だったことを職員さんと話して実現したんですよ。他のサポーターさんも看板づくりやデザート作りなどそれぞれの得意があって、皆さんリスペクトしてます。

みどりさん　他のサポーターと友達になれることはもちろんだけど、キャスト・スタッフの方と距離が縮まることも魅力ですね。

今回の「えがお」人
（左から）
やんきみさん、つきちゃん、たえこさん、みどりさん
（ala collection・ala welcome theatreサポーター）

あなたの『表現』を、もっと遠くへ。
映像、デザイン、Web、イベント制作。
あらゆるクリエイティブで、あなたの表現を加速させる。
その想いを、もっと遠く、もっと多くの誰かへ。
トイ・ファームは、可児市を拠点にする
あなたの専属クリエイティブチームです。
https://toyfarm.co.jp
TOYFARM

FM ららら & ららマガジン
地域密着ラジオとフリーマガジンで
あなたのお店や会社、イベントを
ラジオ＋紙面で PR してみませんか？
✅ 20 秒 CM、スタジオ出演、求人告知
✅「ららマガジン」掲載
HP
FM rara 76.8MHz KANI, MINOKAMO, MITAKE らら
☎ 0574-50-2080　ifno@fm768.jp

The Book lounge Hotel KANI
岐阜県可児市今渡715
Tel 080-3505-8437

New Year Concert

新年の幕開けを
心躍るウィンナ・ワルツの調べで

ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団
ニューイヤー・コンサート2027

ウィーンらしさでは右に出るもののない伝統と格式を誇る
ウィーン・フォルクスオーパー交響楽団が新年にふさわしい優雅な音楽をお届けします。



指揮
グイド・マンクージ



バレエ
アンサンブルSOVOPウィーン
©Naoya Ikegami/SUNTORY HALL

Program
ヨハン・シュトラウスⅡ:
ワルツ『美しく青きドナウ』ほか

ソプラノ:ローレン・アーカート
テノール:ズザボル・ブリックナー

1.11 Mon 14:00 | 主劇場　発売日 11/21(土)

［チケット料金］全席指定 9,000円　25才以下 4,500円

当日ハーフ 割50%

託児申し込み
12/24(木)まで

【公演チケット購入者限定企画】
リハーサル見学＆デザートセット
◆1/11(月・祝)12:00～13:15 ◆定員30名
◆料金1,500円 ◆発売期間12/5(土)～12/26(土)

TEL 0574-63-5223　営業時間 9:00～19:00
アーラ主催・共催公演チケット提示で、公演日から1カ月間、飲食代が10%OFF（一部対象外公演あり）
※お一人様チケット1枚につき1回限り有効

可児市文化創造センター ala
〒509-0203 岐阜県可児市下恵土3433-139
https://www.kpac.or.jp
休館日 11月は4、10、17、24日 12月は1、8、15、22日
【年末年始休館】12月28日～1月7日
開館時間／9:00～22:30（火曜休館／祝日の場合は開館 翌平日休み）
TEL.0574-60-3311 FAX.0574-60-3312 ala_info.01@kpac.or.jp
アーラ facebook　アーラ X　アーラ Instagram

発行:公益財団法人 可児市文化芸術振興財団